



相談室だより

第2号

令和7年4月30日発行

宇都宮市立陽北中学校
教育相談部

「相談室だより」は、本校のホームページからご覧になれます。
携帯電話・スマートフォンから、QRコードを読み取ってご覧ください。



別室登校～校内教育支援センター「サポートルーム」について

～昨年度の「サポートルーム」から、名称が変更になりました～

別室登校とは、教室に行きづらい生徒が、教室ではなく【別室～サポートルーム】に通ってきてそこで、学習をしたり友達と交流したり、先生から支援を受けたりする仕組みです。

学校に行きづらい生徒たちは、それぞれでいろいろな状態・状況です。家から外出すること自体に負担がある場合、学校に行くことに負担がある場合、教室に行くことに負担がある場合など様々です。それぞれの状態・状況や生徒自身の考え、保護者の考えが様々ですので、選択肢がいろいろあることは、とても大切なことです。

学校に行くこと自体はそれほど大変ではないけれども、教室へ行くことが難しい場合は、学校の別室（サポートルーム）登校を考えてみるとよいと思います。

学校に行くことに負担がある場合は、例えば、フリースクールや適応指導教室などの学校外の機関が利用しやすいかもしれません。でも、そういった学校外の機関は自宅から徒歩や自転車で通えるような距離にないことも多いと思います。そういう場合も、別室登校を少しだけ利用するというやり方も可能です。

☆サポートルームの目的

- ・欠席している生徒や集団生活に不安がある生徒が、学級に戻ることを目指しています。生活リズムを整えたり、学習に取り組んだりする中間的な場所として設置しています。
- ・サポートルームは、「じっくり考えられる場」「自分を肯定的に見られる場」です。登校で生活のリズムをつくります。

☆場所や内容

- ・場所は、南校舎2階東（会議室のとなり）にあります。
- ・開設時間は、8:15～帰りの会終了まで、開設曜日は月～金で、毎日開設しています。
→ 個々の状況に合わせて、時間や曜日を決めて利用することもできます。登下校の時間も相談して決められます。
- ・自習を中心とし、学習のサポートの先生も入ります。教室の授業をオンラインで受けることも可能です。
- ・勉強や対人関係の悩みなども相談できます。

☆利用に当たって

担任の先生にまずは相談してください。ご希望後に面談を行います。学校長の許可を受け利用の開始となります。

☆利用申込書（用紙は、学級担任からお受け取りください。）

「サポートルーム（校内教育支援センター）」利用申込書

年 組 氏名

利用日（曜日・時間）	見 本
場 所	① サポートルーム（校内教育支援センター） ② 教科によっては、特別教室に移動して学習 ③ 給食の場所は（教室・学習室・サポートルーム） ※生徒の状況によって変わります
学習内容	① 自分で決めた自主学習の内容を進める ② 担任の先生や教科担任の先生からの課題を進める。 ③ 担当の先生から教科の内容を聞く。 ④ 教室の授業をオンラインで受ける。
担当教員	山崎先生（校内教育支援センター支援員）、複数の先生
その他	・登校時に職員室に自分用のファイルを取り、一日の学習の記録や日記を書く。帰りに担任の先生机上に提出する。 ・授業時間には着席し、静かに学習を開始する。 ・先生の指示に従い、時間を守る。

上記のとおり、サポートルームの利用を希望します。

年 月 日

保護者氏名 _____ 印

サポートルームの通級を認めます。

宇都宮市立陽北中学校

校 長 大場 賢治